

図書室

西川 菜穂

2025 年は、オープンアクセスの進展や生成 AI をはじめとする情報技術の急速な発達により、医学・医療分野における文献入手の手段が大きく変化した一年でした。インターネット環境が整うことで、誰もが迅速かつ容易に文献情報へアクセスできるようになり、その影響もあって、図書室の利用件数や利用者数は年々減少傾向にあります。この状況は当院に限ったものではなく、病院図書室全体で共通して見られる傾向です。

文献情報を手軽に入手できるようになった反面、AI の活用に伴う課題も顕在化しています。特に、実在しない文献や誤った書誌情報が検索結果として提示されるなど、いわゆる AI のハルシネーションが生じるケースも見受けられるようになり、情報が正確で信頼できるものであるかを確認する重要性が増しています。

医療の電子化が進む環境において、図書室担当者として果たすべき役割も変化しています。信頼性の高い情報源の紹介や文献検索結果の確認支援、電子ジャーナルや各種データベースの適切な利用方法の案内、さらには AI ツール利用時の注意点についての助言など、情報の質を担保する支援を行っていきたいと考えています。

年間利用件数

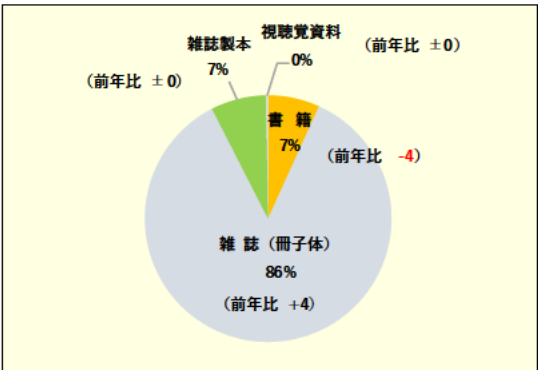
2025 年度の年間利用件数は 824 件で、前年度と比較して 104 件減少しました（表 1）。

資料別の利用比率は、例年どおり、雑誌が全体の 93%（冊子体 86%、製本 7%）と利用の大半を占めています。（グラフ 1）。

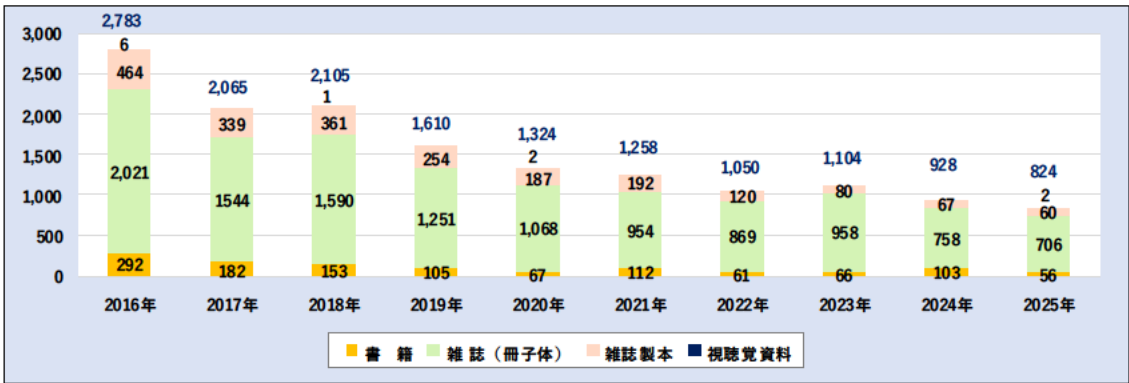
全文データベースの施設導入やオープンアクセス（無料公開文献）の増加により、オンライン上で場所を問わず文献収集が可能な環境が整備されてきました。これに伴い、図書室内における紙資料の利用は、長期的に減少傾向を示しています（グラフ 2）。

資料種別	貸出	複写	合計	前年比
書 籍	56	0	56	−47
雑 誌	682	24	706	−52
雑誌製本	1	59	60	−7
視聴覚資料	2	—	2	+2
合 計	741	83	824	−104
前年比	−83	−21	−104	

表 1. 年間利用件数（資料別）



グラフ 1. 資料別利用比率



グラフ 2. 年間利用件数の推移（過去 10 年間：2016 年～2025 年）

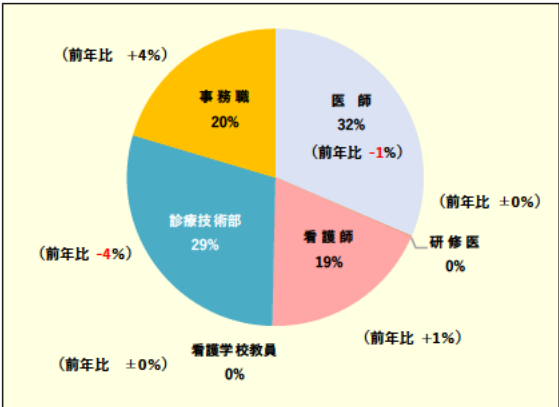
年間利用者数

2025年度の年間利用者数は1,103名で、前年度と比較して403名減少しました（表2）。職種別の利用比率については、前年から大きな変化は認められませんでした（グラフ3）。

診療技術部の利用者数は323名で、前年度と比較して181名減少しました（表3）。内訳は例年どおり、栄養士が39%、薬剤師が22%を占め、高い割合を示しています（グラフ4）。

職 種	院内	院外	合計	前年比
医 師	316	31	347	-151
研 修 医	1	0	1	-3
看 護 師	197	10	207	-59
看護学校教員	0	0	0	±0
診療技術部	321	2	323	-181
事 務 職	224	1	225	-9
合 計	1,059	44	1,103	-403
前年比	-390	-13	-403	

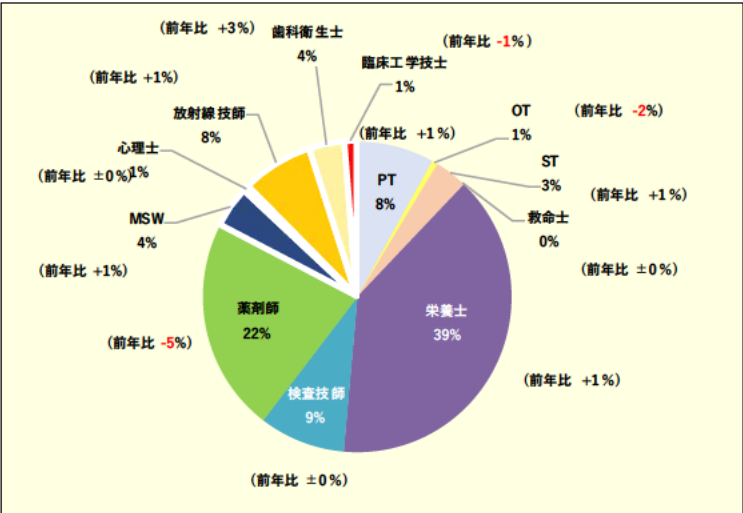
表2. 年間利用者数（職種別）



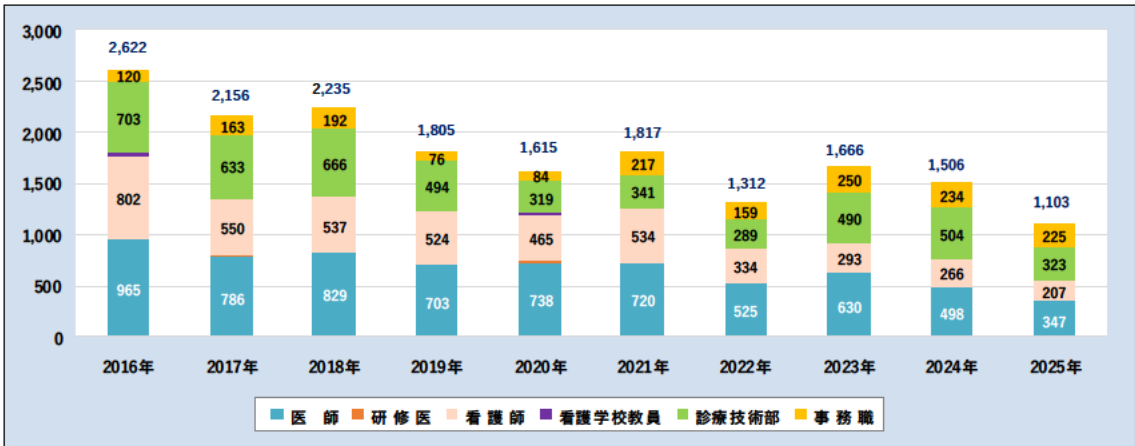
グラフ3. 職種別利用比率

職 種	合計	前年比
P T	26	-8
O T	2	-12
S T	11	+2
救命士	0	±0
栄養士	127	-63
検査技師	29	-19
薬剤師	72	-64
MSW	14	±0
心理士	2	-1
放射線技師	24	-13
歯科衛生士	12	+4
臨床工学技士	4	-7
合 計	323	-181

表3. 年間利用者数（職種別：診療技術部内）



グラフ4. 職種別利用比率（診療技術部内）



グラフ5. 年間利用者数の推移（過去10年間：2016年～2025年）

オンライン上で場所を問わず文献を入手できる環境が整備されるにつれ、図書室の利用者数は年々減少しています（グラフ 5）。一方で、閲覧テーブルやパソコンの利用など、「場としての利用」が中心となりつつあります。

電子コンテンツの利用状況

電子コンテンツの利用件数は前年度より減少したものの、紙資料と比較すると高い水準を維持しています。特に、電子カルテから利用可能な診療支援ツール「今日の臨床サポート」では、利用件数の大幅な増加が認められました（表 4、表 5 及びグラフ 6）。

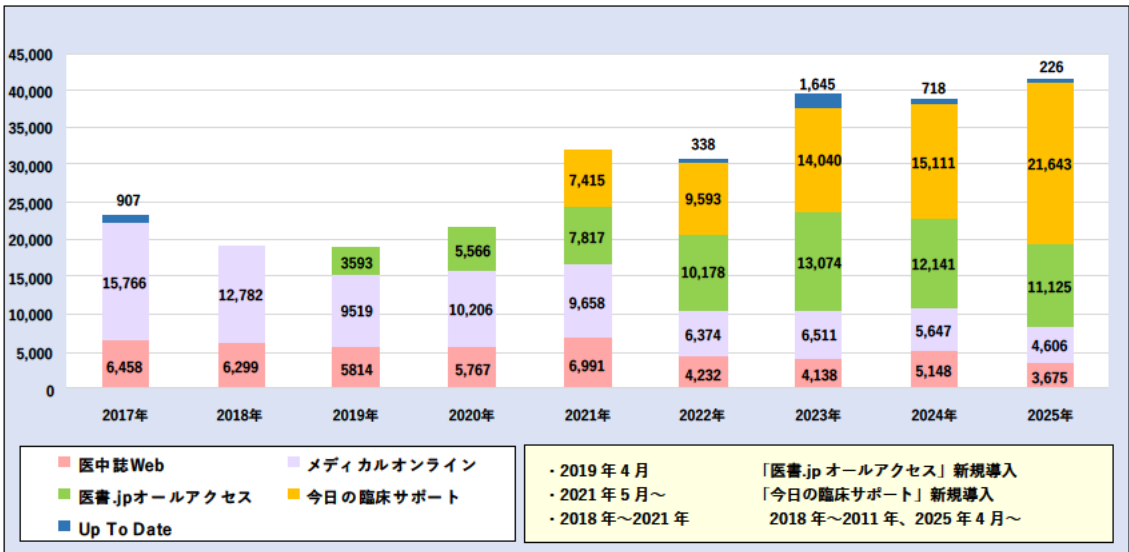
コンテンツ名	利用件数	前年比
医中誌 Web	3,675	－1,473
メディカルオンライン	4,606	－1,041
医書.jp オールアクセス	11,125	－1,016
今日の臨床サポート	21,643	+6,532
Up To Date	226	－492
合 計	41,275	+2,510

※「Up To Date」は 2025 年 3 月に中止

表 4. 年間利用件数（電子コンテンツ別）

コンテンツ名	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
医中誌 Web	6,458	6,299	5,814	5,767	6,991	4,232	4,138	5,148	3,675
メディカルオンライン	15,766	12,782	9,519	10,206	9,658	6,374	6,511	5,647	4,606
医書.jp オールアクセス	—	—	3,593	5,566	7,817	10,178	13,074	12,141	11,125
今日の臨床サポート	—	—	—	—	7,415	9,593	14,040	15,111	21,643
Up To Date	907	—	—	—	—	338	1,645	718	226

表 5. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2017 年～2025 年）



グラフ 6. 年間利用件数の推移（電子コンテンツ別：2017 年～2025 年）

図書室間文献相互貸借件数

他院から当院への年間複写依頼件数は、86 件（2024 年）から 71 件（2025 年）へ減少しました。また、当院から他院への年間複写依頼件数についても、178 件（2024 年）から 158 件（2025 年）へと減少しており、いずれも前年に引き続き減少傾向となっています（表 6）。

2017 年にコスト削減を目的として購読タイトルを大幅に削減して以降、複写依頼件数が複写受付件数を上回る状況が継続しています（グラフ 7）。

また、文献のオープンアクセス化（無料公開）の進展により、病院図書室全体において文献の相互貸借件数は減少傾向にあります。

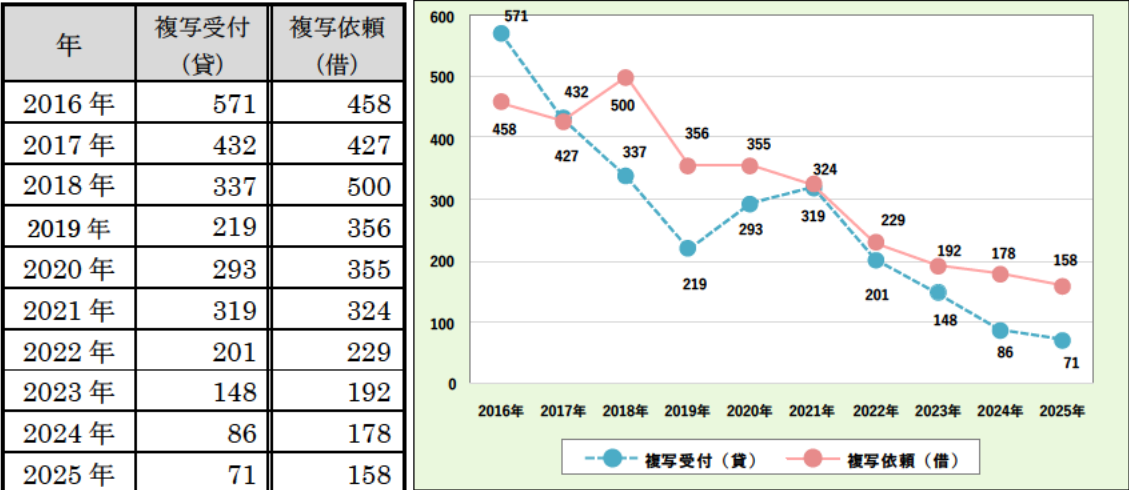


表 6 及びグラフ 7. 文献相互貸借件数の推移（過去 10 年間：2016 年～2025 年）

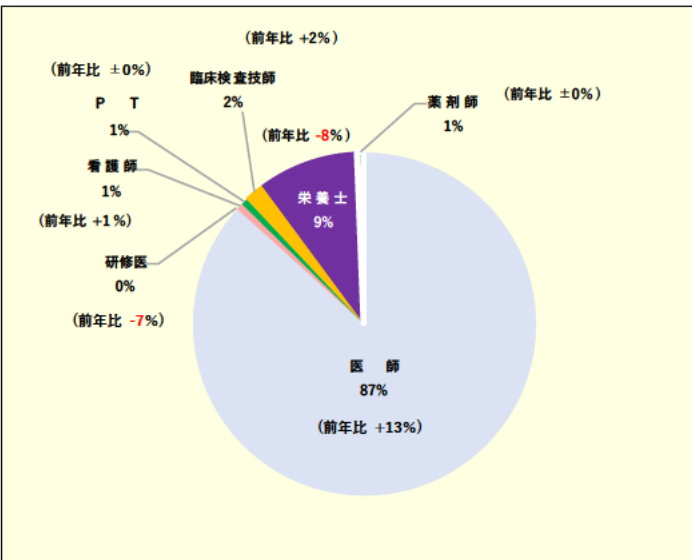
文献取寄せ（外注）依頼件数、依頼者数

文献取寄せ（外注）の依頼件数は 158 件（前年比－20 件）、依頼者数は 30 名（前年比－8 名）となり、いずれも前年より減少しました（表 7 及び表 8）。

例年どおり、依頼件数・依頼者数ともに医師が高い割合を占めています（グラフ 8 及びグラフ 9）。

職 種	件数	前年比
医 師	137	+ 5
研修医	0	－13
看 護 師	1	+ 1
看護学校教員	0	±0
P T	1	±0
O T	0	±0
S T	0	±0
臨床検査技師	3	+ 3
栄 養 士	15	－16
薬 剤 師	1	±0
放射線技師	0	±0
臨床工学技士	0	±0
事 務 職	0	±0
OB (院外)	0	±0
合 計	158	－20

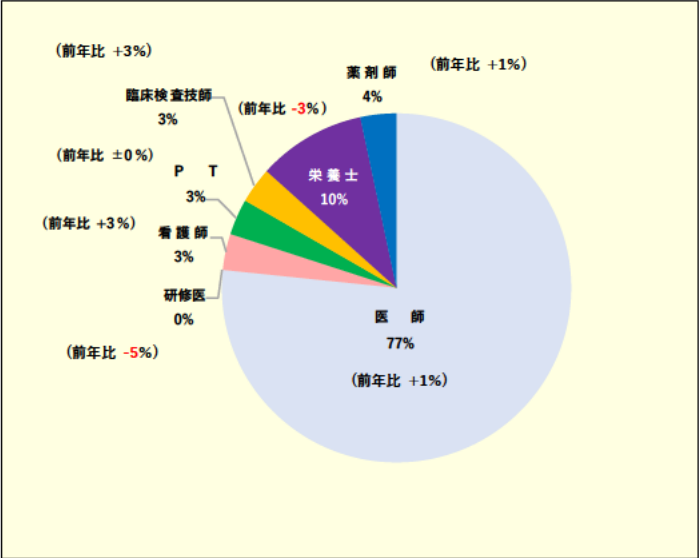
表 7. 職種別 文献取寄せ依頼件数



グラフ 8. 職種別 文献取寄せ依頼比率（件数）

職 種	人数	前年比
医 師	23	－6
研修医	0	－2
看 護 師	1	＋1
看護学校教員	0	±0
P T	1	±0
O T	0	±0
S T	0	±0
臨床検査技師	1	＋1
栄 養 士	3	－2
薬 剤 師	1	±0
放射線技師	0	±0
臨床工学技士	0	±0
事 務 職	0	±0
OB (院外)	0	±0
合 計	30	－8

表 8. 職種別 文献取寄せ依頼者数



グラフ 9. 職種別 文献取寄せ依頼比率 (人数)